

## 令和7年度 鎌倉市いじめ問題対策連絡協議会 概要

【日時】 令和8年1月9日(金) 午前10時00分から11時30分まで

【場所】 鎌倉商工会議所 301 会議室

【委員】 石渡 藍子(鎌倉市PTA連絡協議会 会計)

白川 裕子(鎌倉市教育委員会教育センター スクールソーシャルワーカー)

山本 彩(神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所 子ども支援課長)

塩見 征司(鎌倉警察署 生活安全課長)

加藤 正幸(大船警察署 生活安全課長)

坂井 泰雄(市立小学校長会 代表)

石川 裕一郎(市立中学校長会 代表)

小川 充則(地域共生課 担当課長)

矢作 拓(こども家庭相談課長)

正木 照雄(青少年課長)

### 【次第及び内容】

#### 1 開会

#### 2 教育指導課長あいさつ

#### 3 委員自己紹介、会長選出

会長：坂井泰雄委員、塩見委員欠席

#### 4 内容

##### (1) 連絡協議会の扱いと会議録について

- 会議は、原則公開。
- 署名委員は、白川委員、石川委員

##### (2) 鎌倉市いじめ防止対策推進条例の制定について

- 新たな「鎌倉市いじめ防止対策推進条例」が制定され、既存の関連条例2件は廃止・一本化される。条例は令和8年4月1日から施行される。

##### (3) 令和6年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の報告等

- いじめ認知件数や小学校での暴力行為が増加している一方、組織的な取り組みの成果も見られる。教育委員会として未然防止と早期対応を柱に、関係機関との連携を一層強化していく。

Q 小学校での暴力行為の増加について、どのような背景、理由があるか。

A 一部の学校において特定の児童による複数回の事案が継続的に発生したことが主な要因である。また、学校現場では小さなトラブルについても記録の徹底に努めており、潜在化していた事案が可視化された結果であると考えている。

#### (4) 学校におけるいじめ防止の取組紹介

- ・学校グランドデザインの3本柱の中に、いじめ未然防止・早期解決を明記している。
- ・人権教育を重視し、自己肯定感を高める授業改善に取り組むとともに、道徳教材を活用して当事者意識を育んでいる。
- ・いじめ防止対策委員会を案件の有無にかかわらず定期的に開催している。
- ・生活・いじめアンケートを学期ごとに実施し、記載があれば必ず聞き取り、記録と共有に努めている。
- ・書籍を活用した啓発、児童会のポスターで言葉遣いの注意喚起を行っている。
- ・「ドクターイエロー（お困りボックス）」を設置し、記名式により迅速な対応に結び付けるなど相談体制整備に努めている。
- ・ピンクシャツデーを全校で実施（カード掲示・メッセージの木など）している。

#### (5) いじめ問題等に係る各関係機関の取組について

- ・不登校事例（言葉のいじりの蓄積、人間関係固定の影響、復帰の心理的ハードル）を通して、物事の善悪の判断が実際の行動に結び付かないことへの懸念や、第三者へ安心して報告できる仕組み（ホットライン）の必要性に言及があった。
- ・スクールソーシャルワーカーにおいては、SOSを発信した児童との面談を実施するなど、複数の枠組みの中での支援を継続して行っている。
- ・児童相談所は、虐待のみならず、いじめ相談にも対応している。子どもの発信を迅速に受け止め、対応方針のフィードバックに努めている。
- ・警察では、PC・携帯・タブレットの正しい使い方に関する教室を実施している。低学年向けのSNS講座をボランティア団体と独自で実施している。SNS上の誤解がいじめへ発展する事例が共有された。
- ・小学校では、月1回「児童指導全体会」を開催し、職員間で情報共有を行っている。教育相談コーディネーターから各学級へ報告をしている。
- ・中学校では、学校全体と各学年に生徒指導担当を配置し、週1回「生徒指導会議」で情報共有をしている。必要に応じて保護者や外部機関（警察・児相・市相談機関）と連携して早期対応に努めている。
- ・地域共生課（人権担当）では、女性の人権問題や一般相談を所管している。原因や責任が曖昧化しがちな相談に留意し、連携して複合課題へ対応している。
- ・子ども家庭相談課では、個々の安心に寄り添う支援を行っている。不安定家庭に係るショートステイや児相との連携事例が共有された。
- ・「放課後かまくらっ子」で見られる問題行動の背景把握の難しさについて言及があった。学校で見せない一面が現れるため、子ども家庭相談課・教育センターと連携し、学校の普段の様子も踏まえて対応している。放課後でしか見えないサインを継続的に拾い上げ、情報共有を行っていく。

#### (6) その他

- 特になし